

渡辺仁史

やっぱりまだまだ メールが主流



think the future from hitoshi watanabe lab.

●仁史研OBOG名簿更新アンケート調査から

2016年3月に早稲田大学を選択定年制で退職してから、やがて7年が経とうとしています。

この間に何人かの方々とは個人的にお会いする機会がありましたが、研究室に関連する皆さん全員に声をかけて集まることはありませんでした。

Facebookやインスタグラム、さらにライン、最近はZOOMなどで情報交換をしてきましたが、やはり一部の特定の方々との間でのバーチャルなやりとりであり、対面で波動を感じながらの交流とは違っていました。

そこで、久しぶりにみんなで集まるのか、ということになったのですが、現在は自分の研究室が大学になく在籍者もない中、皆さんの所在把握に困難を極めました。従来のように全員にハガキを送ってお知らせするというのは私一人では不可能で、どうしたものかと迷っていたところ、Google Formでのアンケートはとの提案に至ったわけです。

ところがこれも困難を極めました。そのアンケートへの回答依頼をどうするのか。現在、私が把握している研究室及びゲストの総数は634名（スカイツリーと同じです）、そのうち年賀状で確認が取れて

いるのは約100名、Facebookの仁史研グループへの登録者が約200名、大学で卒業生用に使っていたメーリングリストが約300名ですが、このうちの大半がダブっているため、実は、634名のうちの大半の連絡先が分からないままです。

これからも皆さんとの交流を絶やさないためには、まずは、わかる範囲で集まってみようというのが、今回のOBOG会2023の趣旨でもあります。

さて、先日の名簿確認のアンケートに回答してくださった190名の皆様は、なんとメールでの配信希望が6割以上いて、Facebookの3割を大きく上回っていました。しかもほぼ全員がメールアドレスも持っていることも分かりましたので、もう旧式かなと思っていたメールによる連絡を主体としながら、同時にFacebookへの投稿を並行して行うことにしました。試験的に研究室新聞「ひとしの森」を創刊し、先日配信しましたが、今回は、その第2号にあたります。

2月12日（日）午前10時から、ZOOMによるメタバース研究会も開催しますので、仁史研OBOGのFacebookページもご覧ください。

News Paper
第2号
2023.02.07

